計画の実施状況の公表

評価年度	令和4年度
機関名	稲城市
目標に対する達成度	<採用に関する目標> (実雇用率) 1. 86% (令和4年6月1日)
	<定着に関する目標> (定着率) 100% ※令和4年度中に採用した者の令和5年3月31日時点
	(平均勤続年数) 常勤職員全体の平均勤続年数 14.4年(平均年齢42.1歳) 障害者である常勤職員の平均勤続年数 12.5年(平均年齢40.6歳) ※令和5年3月31日時点
取組内容の実施状況	〈障害のある職員の活躍を推進する体制整備〉 ○障害者雇用推進者として人事課長を選任している。 ○以下の研修を実施した。 対象 内容 管理職 障害者雇用に関する研修(オンライン) 入庁2年目職員 障害福祉研修 新規採用職員研修(障害福祉に関する内容) 〈障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出〉 ○障害者と業務の適切なマッチングを検討し、職員配置を行った。 ○障害等により従来の業務遂行が困難となった旨の相談はなかった。 〈障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理・キャリア形成〉 ○面談・自己申告等を通して必要な配慮の有無等について把握した。 〉対象者について就労移行支援事業所との定着面談を継続的に実施している。 ○聴覚障害者等職員向けに電話リレーサービスの利用を開始した。 〈障害のある方の職員採用〉 ○採用試験申込時に、選考当日の配慮事項の確認を行い、選考を実施した。 ○職員の募集・採用にあたり、以下の取り扱いを行わずに実施した。 ・特定の障害を排除し、または特定の障害に限定する。 ・自力で通勤できることといった条件を設定する。

	・介助者なしで業務遂行が可能といった条件を設定する。・「就労支援機関に所属・登録しており、雇用期間中支援が受けられること」といった条件を設定する。・特定の就労支援機関からのみの受け入れを実施する。
「目標に対する 達成度」及び 「取組内容の実 施状況」に対す る点検結果	○令和4年6月1日時点の実雇用率は法定雇用率2.6%を下回っており、より積極的に障害者採用を行っていく必要がある。 ○職員の定着状況では、平均勤続年数において常勤職員を下回ったが、これは障害者採用を積極的に実施した結果、障害者に占める在職年数の低い職員の増加により平均勤続年数が減少したことによるものであり、離職等によるものではない。 ○人事考課面談や自己申告等により、本人と職務が適切にマッチングできるよう引き続き努める。 ○各取組についても計画に沿って適切に実施し、障害者の活躍を推進するための体制や環境の整備を図っていく。
計画の見直し・ 修正	修正なし